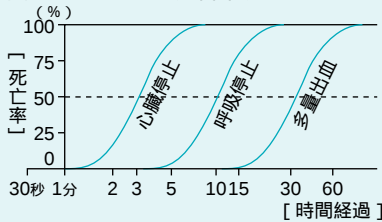


図：カーラーの救命曲線



心臓停止後約3分で50%死亡
呼吸停止後約10分で50%死亡
多量出血後約30分で50%死亡

あなたの目の前で、大切な家族が突然倒れ、意識がなくなり、心臓が止まっている場合に、そばにいるあなたは何かができるでしょうか。

救急車が到着するまでの応急手当の有無が、あなたの大切な家族の生死を分けることになるのです。

左の図は、カーラーの救命曲線といえます。心臓や呼吸が停止してから、何分経過すると命が助からないかを示しています。すなわち、時間がたてばたつほど、命を救うことが困難になってきます。



vol.15

大切な家族が突然倒れたとき
あなたは何かができますか？
救急講習会の参加者募集

南消防署
☎0119

では、救急車を要請した場合に、皆さんのお宅まで何分ぐらいで到着するのでしょうか。

——九番通報を受けてから、救急車が現場に到着するまでの土岐市の平均時間は、六分から七分です。

しかし、脳が酸素なしで生きられる時間は、わずか三分から五分といわれています。

したがって、呼吸や心臓が停止した傷病者を、そのまま放置して救急隊に引き渡したのでは、命を救えたとしても、元の社会生活ができるまでに回復させることは非常に難しいのです。

消防署では、このような突然の病気や事故に対応できるように、普通救命講習会（三時間）を開催します。

大切な家族のために、この機会にぜひ参加してみませんか。

消防に関する意見・質問は
・北消防署 ☎0119
・南消防署 ☎0119
・濃南分駐所 ☎0119
へどうぞ。

普通救命講習の参加者募集

日時 九月七日（日）午前八時四十五分～正午

場所 土岐市南防災センター（下石町・南消防署内）

内容 応急手当の必要性の理解、心肺蘇生法の習得

受講者（三時間）には、修了証が交付されます。

定員 三十人（先着順）

参加費 無料

申し込み 八月三十一日（日）までに、電話で南消防署救急係へお申し込みください。

悩んでいませんか？

～ファミリー・カウンセラーがアドバイス～
vol.27

高齢者にかかわる悩みごと

A. デイサービスなどの利用を通して、老人ホームを理解してもらう

高齢者は、できれば住み慣れた地域で暮らしたいと願っています。お父さんが、家を離れたくないと思うのも無理はありません。施設が在宅かの選択は、できるだけお父さんの自己決定を尊重すべきでしょう。しかし、在宅生活が本人のためにならないばかりか、それを支える家族が共倒れになることもあります。在宅生活ができる見通しがあるかどうか、最終的にはお父さんに代わって判断してあげることが必要です。

昔の養老院のイメージや偏見があって、老人ホームへの入所を嫌う高齢者もいます。また、親を老人ホー

Q. 施設での介護

母に先立たれて一人暮らしをしている父は、80歳を過ぎて痴ほうが進み、周囲から老人ホームへの入所を勧められています。父は、老人ホームに入るのは嫌だといいます。親を施設に入れることはつらいのですが、私は病気の夫を抱えているため、父を引き取ることができません。

ムに入れることに罪悪感を持つ人がいるかもしれません。そこで、お父さんにデイサービス（日帰り介護）やショートステイ（短期滞在）を経験してもらい、徐々に老人ホームへの理解を得ることが必要でしょう。

お父さんが老人ホームへ入っても、家族介護が終わったわけではありません。家族は施設と連絡をまめに取り、お父さんとの精神的つながりを大切にして、施設での介護に積極的に参加してほしいものです。

（カウンセラー・田中健三）

